

警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県秦野警察署協議会
日 時	令和5年10月11日（水）午後2時から午後4時15分までの間
場 所	神奈川県秦野警察署
出席者	<p>警察署協議会側</p> <p>会長 高橋克実、副会長 小泉裕子</p> <p>委員 和田稔、小松昭一、玉木茂、内藤友子、柳川和秀、山口典彦、池上紀子 計9人</p> <p>警察署側</p> <p>署長 加藤圭司、副署長 須藤智克、調査官 来城治</p> <p>留置管理課長 宮崎洋一、会計課長 加藤紀子、生活安全課長 久保武次</p> <p>地域課長 早川直希、刑事課長 佐藤朗、交通課長 深澤祐多、警備課長 峯尾直矢 計10人</p>
議事要旨	<p style="text-align: center;">警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明</p> <p>前回諮問「山岳遭難事故防止対策について」 （前回の答申）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山ルートの危険個所の分かり易い地図を作成してはどうか。 ・駅から登山口まで運行しているバス会社に協力を依頼し、車内等で注意喚起のアナウンスを流し、下車時に登山カードを提出させてはどうか。 ・登山者カードをアプリ化して申請してはどうか。 ・登山者のGPS発信機所持を義務化してはどうか。 ・登山レベルを表記した案内図を作成してはどうか。 <p>（措置結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話しか連絡方法がないため、ホームページでモバイルバッテリーの持参を呼び掛けた。 ・市、県警のホームページで、注意喚起を促す内容を掲載済であることを説明した。 ・現在は、バス会社に登山者カード記載のお願いのみであるため、今後、山岳事故の発生が多いことや、安全な登山についての注意喚起を促す内容にってもらうよう交渉中である。 ・行政機関のホームページに難易度、登山時間が掲載されていることを説明した。 ・健康状態についても、ポスター、SNS等を活用して注意喚起を実施する。 ・行政機関に下山途中の見やすい場所に、注意喚起の看板等の設置を依頼した。 <p style="text-align: center;">諮問</p> <p style="text-align: center;">「災害対策について」</p> <p style="text-align: center;">答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段から地域（自治会との繋がり強化）での連携を強化する。 ・警察へお願いしたら何が出来るのか分かり易く明記してはどうか。 ・スマートフォン、インターネット端末などのツールや手段を持たない人へ、情報を集約して口頭で伝える。 ・郵便配達員や新聞配達員との連携を強化する。 ・警察・消防・市の協定内容の公表をしてはどうか。 ・交番に情報をいち早く伝え、住民が交番に行けば事態を把握できるようにしてはどうか。 ・噴火による火山灰は別の災害対策として考える。（火山灰が積もった際は車両走行が不可能であるため）

	業務説明
	令和5年度第2四半期（令和5年7月から9月まで）の業務推進結果及び令和5年度第3四半期（令和5年10月から12月まで）の業務推進重点について説明した。
備 考	視察
	山岳救助隊による降下訓練及び警備課員による災害装備資機材訓練の視察を実施した。
	視察後の協議会からの意見
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 普段、目にすることのないところで、非常時の訓練を重ねている事を実感した。 ○ 山岳訓練は、見る機会がないので訓練を見ることができて貴重な経験だった。